

次に、2番議員の一般質問を許します。2番山本昌子さん。

○2番（山本昌子さん） おはようございます。議員番号2番、山本昌子です。

このたび町民の皆様のご信託を受け、八峰町議会議員として初めてこの壇上に立たせていただきました。まだ不慣れな点も多く、進行の上で不手際がございましたらご容赦いただければと存じます。町民の声を丁寧に議会へ届けるという初心を忘れず、真摯に質問させていただきます。よろしくお願いいたします。

では、通告に基づき一般質問をさせていただきます。

巡回バス及びデマンド型乗合有償運送の利用状況について質問いたします。

2022年10月に本運行が開始され、導入から3年半が経過いたしました。特に、免許返納を現実的に意識する75歳以上の町民が人口の32%、約1,800人を占める本町において、地域公共交通は「移動の足」と同時に「生活の基盤」であり、その重要性は年々高まっております。

そこで以下の4点についてお伺いいたします。

1点目、現在の予算規模と財源構成について。

巡回バス及びデマンド型交通に関わる年間予算額と前年度からの増減をお伺いいたします。

本年度一般会計予算は公示されておりますが、地域公共交通というくくりで合算してご説明いただければと思います。

そのうち、町の一般財源、国の補助金など、財源の内訳はどうなっておりますでしょうか。

2点目、利用状況についてお伺いします。

本町の巡回バスは、岩館方面、大久保岱方面、石川方面の3路線、それぞれ3往復で運行されております。2023年度の年間利用者数は1万1,008人と報告されており、1日当たり約35人、さらに3路線で均等に見ると、1路線当たり1日約12人という利用規模でした。一方、デマンド型交通については、2024年度の利用件数が2,499件で1日平均にすると約10件となっております。また、昨年9月からは運行時間が4時間延長され、午後9時までの運行に拡充されております。

そこで伺います。

巡回バス3路線の直近のそれぞれ1日当たりの平均利用者数はどの程度でしょうか。同じくデマンド型交通の1日当たりの平均利用件数はどの程度でしょうか。

今後のダイヤ編成や運行形態の見直しを検討する上で、路線別の利用実態を正確に把握することは不可欠と考えております。

3点目、巡回バスについて今年4月にダイヤが改正されました。朝の便については、能代厚生医療センターに8時半又は8時20分までに到着することを基本骨格として設定されていると認識しております。

4月のダイヤ改正にあたり、どのような課題認識を持って見直しを行ったのか、ご

説明ください。

最後に、利用者の意見の把握と反映についてお伺いします。

現在の巡回バスのダイヤでは、役場に用事があっても帰りの便まで約3時間待たなければならず、時間を潰せる場所もございません。診療所やファガス、峰栄館の利用も、現行ダイヤでは往復の利便性が十分とは言えません。また、デマンド型交通と巡回バスを組み合わせれば移動の幅が広がるはずですが、現状では利用促進に繋がっていないとの指摘もあります。

6年前の2020年にアンケート調査が実施されました。自治会を通じて65歳以上のみの821世帯1,173人を対象としていました。しかし、65歳はまだ現役で運転されている方が多く、免許返納を実質的に意識し始める年代とは必ずしも一致しておりません。一方で、近年では高齢ドライバーによる事故が繰り返し報道されており、町民の間でも「事故を起こすような事態は避けたいけれども、返納後の移動手段が不安だ」という声が高まっております。こうした状況を踏まえると、より実態に即した年齢層を対象とした調査や地域ごとに意見を交わす場を設け、町民の不安を丁寧に把握することが必要ではないかと考えます。

そこで伺います。

巡回バスやデマンド型交通の利用者から寄せられている意見・要望にはどのようなものがあり、町としてどのように把握し、改善に向けてどのように検討しているのでしょうか。

以上4点です。よろしくお願いいたします。

○議長（山本優人君） ただいまの2番議員の一般質問に対し、当局の答弁を求めます。堀内町長。

○町長（堀内満也君） おはようございます。山本議員のご質問にお答えいたします。はじめに、地域公共交通における現在の予算額と財源構成についてであります。

「年間予算額」につきましては、巡回バスに係る令和8年度予算が約4,200万円、デマンド型乗合有償運送は約700万円となっております。

また、「財源の内訳」につきましては、地域公共交通の運営費に対する国や県の直接的な補助事業がないことから、利用料金を除き、全て町の一般財源により対応しておりますが、これは「特別交付税」の対象となっております。

特別交付税は、個別事業ごとに交付されるものではなく、市町村全体の財政需要として算定されるため、特定の事業に対して交付額を明確に示すことは難しいと考えております。

次に、「路線ごとの利用状況について」であります。現在、町の巡回バス路線は5路線であり、令和7年度における各路線の1日当たりの平均利用者数は、大久保岱・岩子・畑谷線が8人、大信田・石川・強坂線が12人、内荒巻・石川・強坂線が8人、岩館・目名瀉線が24人、岩館海岸沿・目名瀉線が16人となっており、年間合

計では1万1,311人にご利用いただいております。

また、デマンド型乗合有償運送につきましては、1日当たりの利用件数が6件となっており、年間合計では3,175件となっております。

次に、ダイヤ改正の内容につきましては、令和8年度は、水沢橋の老朽化による通行止めを受けたルート変更に加え、令和7年度中に利用者から寄せられた「能代市公共交通との接続の不具合」を解消するため、全体的な発着時間を見直ししたところがあります。

また、利用者の意見の把握と反映についてであります。これまでも利用者からの意見を検証し、継続的な改善に努めてきており、具体的な実績としては、土曜日の役場閉庁時における役場前停留所の見送りや、利用実績のない本館停留所への予約制導入などが挙げられます。

こうした改善により、利用者からは「能代市内への接続が便利になった」と評価をいただいておりますが、更なる改善要望として、「ハタハタ館に到着後、次の発車便までの時間が短い」等のご指摘も受けております。

今後のアンケートや意見交換の予定についてであります。町では、住民やバス利用者へのアンケートを4回、地域公共交通会議を7回実施しているほか、各自治会の総会等、様々な機会を捉えて意見交換を重ねるなど、これまでも利便性の向上に努めてきております。

こうした取り組みが奏功し、町の人口は大きく減少しているものの、巡回バスとデマンド型乗合有償運送を合わせた総利用者数は増加傾向にあることから、一定の効果が得られていると考えております。

このため、議員ご指摘のアンケート調査等の実施については、現時点では考えておりませんが、今後も利用者の声にしっかりと耳を傾け、この地域公共交通が町民の皆様の生活の基盤として機能するよう取り組んでまいります。

以上であります。

○議長（山本優人君） 2番議員、再質問ありませんか。2番山本昌子さん。

○2番（山本昌子さん） ご説明ありがとうございました。ダイヤ改正による利便性の低下というか、ハタハタ館の滞在時間が短くなったというご説明がありました。意見があったというお話がありましたけれども、本町は小規模自治体であるからこそ、利用者の声を丁寧に拾い上げ、痛いところに手が届く公共交通を実現できる可能性を持っていると思います。今年4月のダイヤ改正においては、岩館方面からの最終上り便が1時間繰り上がり、その結果、ハタハタ館を利用できる便が事実上消滅いたしました。この変更により、温泉利用、買い物、町民限定200円の水曜入浴サービスといった、町民の楽しみや健康増進の機会が大きく制限されております。

そこで伺います。

最終便を1時間繰り上げる判断に至った具体的な理由は何でしょうか。

○議長（山本優人君） ただいまの再質問に対し、当局の答弁を求めます。門脇企画政策課長。

○企画政策課長（門脇朝哉君） ただいまの山本議員のご質問にお答えいたします。

ハタハタ館への時間に変更になった点につきましては、能代市との公共交通の接続の不具合があるという町民の皆様のご指摘を受けて、全体的に時間を調整したところであります。

で、その時間が短くなったということですが、まず町民の皆様にはデマンド交通を合わせてご利用いただくという点と、それから、例えばハタハタ館をご利用する下り線を使ったお客様につきましては、1時38分、16時38分、18時38分に到着することができます。で、こちらをご利用いただいた方につきましては、例えば五能線の上り線でお帰りいただくパターンが想定されるんですが、3時41分、5時31分、7時13分、20時20分の上り線があります。で、こちらのご利用も合わせてお考えいただくという形で現在是对応をしているところでございます。

○議長（山本優人君） ほかに質問ありませんか。2番山本昌子さん。

○2番（山本昌子さん） 五能線との合わせた利用を促進するという事で、是非こちらは町民の皆さんにもPRを是非お願いしたいと思います。

続きまして、町民限定200円の水曜入浴サービスがダイヤ改正と同時に発表されたことは偶然かもしれませんが、行きたいのに行けないという状態が今起こっているようです。デマンド交通や五能線を利用するという使い方をPRするとともにですね、自家用車を持たない町民にとって交通費の往復200円、温泉利用料200円、合計400円で楽しめる水曜日は貴重な外出機会でございます。夏場は健康維持、冬は灯油・水道代の節約にも繋がります。

そこで提案を含めて伺いたいします。

ハタハタ館発、午後3時台のダイヤですけれども、水曜のみ、新たに追加するという事は検討できないでしょうか。これにより、利用者は少なくとも巡回バスを使って1時間滞在を確保できますし、さらに3時台であれば大久保岱、石川方面の巡回バスにもちょうど接続できる時間帯でございます。いかがでしょうか。

○議長（山本優人君） ただいまの質問に対し、当局の答弁を求めます。門脇企画政策課長。

○企画政策課長（門脇朝哉君） ただいまの山本議員のご質問にお答えいたします。

利便性向上に繋がる新たなご提案、ありがとうございます。町の方では、増便するというケースを考えた場合に、まずはバスのリース1台多くなると。それから、委託をしている秋北バスの方で運転手をもう一人確保していただくという課題があります。なので、こちらの課題を踏まえて、地域公共交通会議等で案件として出させていただいて、今後ちょっと検討材料とさせていただきたいと考えております。

ただ、基本的には、現在のダイヤの時間の見直しによってどこまで利便性を向上で

きるかというところを重点的に話を進めてまいりたいと考えているところでございます。

○議長（山本優人君） ほかに質問ありませんか。2番山本昌子さん。

○2番（山本昌子さん） さらに、ハタハタ館と公共交通の活用について質問させていただきます。

ハタハタ館は町の重要な観光交流施設であり、町民にとっても食事、温泉、買い物を楽しめる場であります。例えば昼食の時間帯に滞在できるダイヤ設定を今後検討するお考えはありますでしょうか。町民の利用促進は、ハタハタ館の売上げ向上や地域経済の循環にも寄与いたします。この視点をダイヤ改正にどの程度反映できる可能性があるとお思いでしょうか。

○議長（山本優人君） ただいまの質問に対し、当局の答弁を求めます。堀内町長。

○町長（堀内満也君） 少し地域公共交通とハタハタ館の利用というところをちょっと分けて説明したいんですけれども、先ほど課長が言ったとおりですね、地域公共交通というのはやはり能代市との接続というようなところもありますので、なかなか町単独では決めることが難しいなというところがございます。そういったところもあって、ちょっと調整には相当時間がかかるんだろうなというふうに思っています。

一方で、そのハタハタ館の利用促進という観点から言いますと、やはり先ほど議員がおっしゃったとおり、水曜日が200円でお風呂に入れるということで、かなり利用者数が増えてきているところでございます。町の方の意見を聞きますと、同様にですね、「なかなかその100円のバスで行ける時間がないんだよね」というような話が相当に聞こえてくるところでございまして、私はですね、いわゆるデマンド型のタクシーでですね行っていたら、「マイナンバーカードあれば300円で行けるんですよ」というような話をするんだけど、やはり高齢者の方が言うにはですね、「300円は高い」というような話をされるところでございます。やはりそういった意見もですね、しっかりと我々も受け止めまして、今、実はですね、水曜日限定であればハタハタ館側でバスも出せるんじゃないかなというようなところを実は考えたんです、最初。そしたらですね、やはりそのハタハタ館も本当にやはりこう予約があって行くのはいいんですけども、お客さんが乗らないのにただバスを走らせるっていうのもなかなか難しいところがあるよねっていうのもありますし、また、その運転手の確保というところも少し課題がありまして、そういったところをですね少しずつクリアにしていきながら、何とかね、その水曜日限定でもいいですので、ハタハタ館の利用促進というところをしっかりと努めていきたいなというふうに考えております。

以上です。

○議長（山本優人君） ほかに質問ありませんか。2番山本昌子さん。

○2番（山本昌子さん） すいません、質問ではないんですが、一応終わりの言葉として。

以上で私の一般質問は終わります。初めての質問で至らない点もあったと思いますが、丁寧にご答弁いただき、ありがとうございました。これで終わります。

○議長（山本優人君） ほかに質問がないようですので、これで2番議員の一般質問を終わります。